

## 令和5年度 第9回「石川地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年8月24日（木） 19：00～20：00

場 所：石川公民館

参加団体等：振興協議会、長生会、壮年会、社会福祉協議会、自衛消防連合会、スポーツ協会、北消防団石柏分団、子ども見守り隊、子ども会連絡協議会、コミュニティクラブいしかわ、公民館長、町内会長、白山市町会連合会理事など

### 発言【1】

市民協働のまちづくりを1年目から50万円の補助金で3年間継続し、事業が大きくなってきている。補助金を増やすことができないか。柏野地区は人口が800人、石川地区は4500人の人口だが、同じ50万円で活動している。来年以降はどう考えているのか。

### 【市】

令和6年度からの（仮称）地域コミュニティ推進交付金における各地区の交付上限額は、均等割として現在地域コミュニティ組織に交付している地域コミュニティ活動支援補助金（上限50万円）及び公民館運営審議委員報酬（14万円）、市長が定める額として市内全公民館に交付している公民館活動事業及びスポーツ課の「うぐいす運動」の令和5年度予算相当額、さらに人口割を合算したものを考えています。各組織内における予算配分については、地域住民のニーズを参考に、従来の事業を見直して一層効果的な事業実施に取り組んでいただきたいと思います。

なお、令和6年度以降の各地区の実施状況を踏まえ、地域の実情に応じて、将来的に制度の見直しについても考えていきたいと思っています。

### 発言【2】

- (1) 町内会長をしているが、高齢化で施設に入所する家が多く、町内会の運営が厳しい。市からも助成金をもらっているが、助成金の見直しができないか。
- (2) 石川地区に200人近く企業実習生がいる。災害が起きた時、企業実習生が避難難民にならないためにもう少し配慮ができないか。
- (3) 学校で先生が不足しているように感じる。ペーパーティーチャーの把握ができていないのか。

- (4) 教員免許を持っているが、教員採用試験を受けなかった人や先生として働いていたが、今は辞めている人など、先生の掘り起こしができないか。
- (5) 女子野球のグラウンドは白山市に拠点があるが、新しい白山市立野球場を優先的に使えるよう配慮してもらえないか。

#### 【市】

- (1) 日頃より、市からの広報等の配布などご協力いただきありがとうございます。町内会によっては高齢化が進んでいるところもあり、また、多忙の中で市とのやりとりで町内会にご負担をお掛けするケースもしばしばあると認識しています。その中で、町内会への負担の軽減につきましては、見直せるところはできる限り見直していきたいと考えています。

ご意見にありました市からの助成金につきましては、市の財政事情も勘案し、他市の事例等も参考にしながら研究してまいります。

- (2) 市では、災害時の緊急連絡、行政放送や町内会など地域コミュニティでの情報共有（町内会放送）のために、住民基本台帳に登録されている世帯や市内に本社・営業所を有する事業所に「防災行政無線戸別受信機」を無償で貸与しています。このことについては、転入（外国人登録）手続きの際における申請案内のほか、別途、ホームページや広報はくさんなどでも周知を行っているところです。企業実習生の避難対応については、言語等の配慮が必要であると認識しており、関係企業等との連携は不可欠であります。

まずは、関係企業及び企業実習生に防災行政無線戸別受信機の配備をお願いできればと思います。災害から身を守るためには、事業所内における避難訓練等の実施や災害時における連絡体制、避難対応など日頃からの備えが大切であり、協力を呼びかけてまいりたいと考えています。

また、石川地区で防災訓練等を実施する際には、企業実習生に対し、参加を呼びかけていただきますようお願いいたします。

- (3) ペーパーティーチャー（教員免許を有しながら教職に就いていない人）については、教職免許を取得し大学を卒業しても、教員採用試験を受けず、学校の講師登録制度に登録しなければ、教育委員会では把握できないのが現状です。
- (4) 先生を増やすため、県教育委員会では、石川県教育総合研修センターといしかわ師範塾が連携し、教員の若手の早期育成や、中堅層の資質向上、管理職の養成など、石川の教育力の維持と向上に向け研修を実施するなど、様々な方法で先生の魅力を教えています。

また、石川県内の大学だけでなく、長野や東京に県の教育担当が出向き、説

明会を行っています。最近は、学校の先生を定年退職したOBの方に声を掛けて、学校で教鞭をとってもらっています。

- (5) 市立野球場については、県内の他球場と同様、野球をするうえで支障をきたすことのないようにしっかりと維持管理し、かつ、安心してご利用いただける施設として、マウンドの維持、グラウンド整備や芝生の養生方法などの管理運営方針を定め、使用は原則大会のみとしているところです。

そのことから、現状では大会以外での優先的な利用は難しいですが、今後、女子野球での大会利用も含め検討していきたいと考えています。

### 発言【3】

- (1) 第2子保育料無償化となると0歳児、1歳児が増えるので、保育士の確保、保育所の確保なども同時にしてほしい。
- (2) 保育園利用申し込みは10月に始まるが、実際に入所決定の連絡が来るのが、本当に遅い。高校受験の入試のように受験票のような物があり、お母さん達がネットで申込番号を検索して分かるようになればいい。迅速に子育て世帯が仕事に復帰しやすいようにしてもらいたい。
- (3) 保育士の人数配置を白山市独自のものに取り組みながら、国の基準よりも手厚い適切な保育を検討してほしい。
- (4) 中学校の制服について、LGBTの観点から上は男子も女子も変わらないブレザー、下はスカートかスラックスのどちらでも良いものにしてはどうか。少数ではあるが、性の違和感がある人が不安なく学校に行けるような配慮ある制服に今後変えていく考えがあるか。

### 【市】

- (1) こども園等の整備については、地域の状況を考慮して適切に行っていきます。保育士の確保についても同様に、法人等の要望も踏まえて努めてまいります。
- (2) 市では、2月頃に決定通知書を園よりお渡ししております。入所申込から4ヶ月ほどかかる理由としては、第1希望に入れない場合、第2、第3希望の施設に調整をすることに時間を要するためです。  
少しでも早い決定通知が可能となるよう、事務手続き等の見直しに努めてまいります。申込番号等のネット利用による発表については、決定通知書と比較して時間的な差があまりないことから、現状では考えておりません。
- (3) 1歳児において国の基準では、子ども6人に対し保育士1人のところ、白山市では子ども4人に対し保育士1人という独自の配置基準を設けております。

- (4) 市内中学校の制服については、女子生徒もスラックスをはけるようにしています。市においてはPTA 連合会や多くの方の意見を伺っており、全国的な制服のあり方を調べるなど、色々な対応に研究を重ねているところです。

#### 発言【4】

学校農園の収穫のお世話をしているが、年寄りのため労働が難しい場面もたくさんある。助成の配慮をお願いしたい。

##### 【市】

学校農園については、「子どもたちの農業・農村体験学習推進事業」を実施する学校に対し、県と市で財政的な支援を行っております。交付対象経費には、栽培収穫体験等に係る苗代や肥料代、工作機具購入等の費用のほか、ご協力いただく方への謝礼金も含まれます。用途は、各校の運営形態によりますので、学校にご相談くださいますようお願いいたします。

市としましては、本事業は、子どもたちの食や農業に関する理解と関心を深め、それらに関わる人々への感謝の気持ちを育む上で大変重要と考えております。

お身体に無理のない範囲で引き続きご協力をお願いできればと思っております。

#### 発言【5】

- (1) 石川地区には遊び場が少なく、全天候型の遊び場所が欲しい。  
(2) 子ども達が、歩いていける距離に薬局やファミレス、駄菓子屋などを誘致して欲しい。

##### 【市】

- (1) 各地域に全天候型の遊び場を設けるのは困難であり、児童センターや市立高速鉄道ビジターセンターに設置される予定の屋内遊具施設を利用するなどしていただきたいと思えます。  
(2) 石川地区内の市街化調整区域は原則、店舗を立地できる区域ではありません。また、石川小学校付近は市街化区域ではありますが、市が直接、希望されるような店舗を誘致できるものではない為、ご理解いただきますようお願いいたします。